



介護体験を

聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第222号

令和2年7月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

＊介護体験を聞く会は休止中

コロナウイルスと培養拡散条件

柳田院長による
ウィルス考察

コロナウイルスは人体を構成をする細胞の中で拡散し、それを適切な温度環境で受け入れる人体細胞の内的条件があると爆発的に拡散



する。しかしこのウイルスは電子線を使用した電子顕微鏡でないとみることができない。数十ナノメートルで一般的な生物の細胞の100〜1000分の一程度である。

グループホーム旭町は3年前に加湿空気清浄器を入れた。このような小さな施設だがインフルエンザが毎年のように流行し、利用者が入院発熱を起こし、抗生物質のお世話になっていった。

どうにかしてこの悪い循環を食い止めたいと思っていた。たまたま大阪の業者で加湿空気清浄器製造する営業マンが来て、グループホームとデイケア、デイサービスにこの機械を入れた。グループホームは毎年のように風邪ひいてイン

フルエンザが流行していたのが、この機械を入れてから、風邪ひく人がいなくなった。この2年くらいはインフルエンザがない。インフルエンザはコロナとおなじくウイルスが主因であるが、外的条件として人体細胞のなかで適度な温度条件がある。主な因子のウイルスが爆発的に増える条件が必要だろうが、換気とか適温が外的条件にあり、このうえにウイルスが主因であり、これが急増する外的条件がたまたま加わると異常に爆発的増殖するのである。

コロナの元凶はコロナウイルスであるが、このウイルスが爆発的に増殖する条件ができると世界的流行、いわゆるパンデミックになる。その条件が偶然でもそうう

と爆発的流行になるのである。ここに人類は対峙しなければならぬ。いわゆる人類として、お互いが世界的に仲よく協力しているか、豊かな政治ができて、いるのか、国民を豊かに平和に治められているかなどが確かめられることになるのである。

の医学的發展に邪魔をしているのである。
柳田診療所
柳田 明



久しぶりの外出にウキウキ(* **)

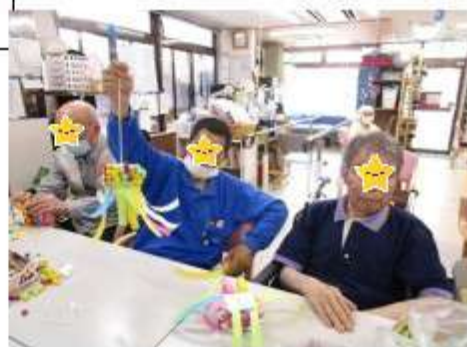
おやつ作り

デイケアでは6月18日(木)・19日(金)に蒸しカップケーキ作りをしました。「最近おやつ作りしてないよね」と利用者様からちらほら声を頂いていたので、おやつ作りを楽しみにされていらつしやる方も多いいんだなと思い企画させて頂きました。



作っていく事にしました。テーブルを準備し始めると、皆さん自ら移動して下さったり、「早くテーブルに連れ行って」と声を掛けて下さる方もいらつしやいました。1日目のカップケーキの中はチーズとウィンナーです。各テーブルでホットケーキミックスと卵、牛乳を混ぜて頂きました。意外と混ぜ合わせるのは力が必要で「交代して」と仲間同士で協力して混ぜ合わせていました。お一人ずつ紙のカップをお渡しし、その中に混ぜた生地を入れ、具を各自入れていきます。ついつい多く入れてしまう方もいらつしやり、それでも大勢で行う醍醐味です。いよいよ蒸す準備が出来、ホットプレートにカップを並べてお湯を入れ加熱していきます。デイケアの電気のアンペアは40Aの為、ホットプレートを3台付けるとブレーカーが落ちてしまいます。まずはエアコンや電気を消して行いま

した。それでもやはりブレーカーが落ちてしまった為、次々に電気を使うものを消して行き何とかして蒸し上がりました。12分間蒸すのですが、その間皆さんガラス張りの蓋の奥の自分の



カップケーキはアクシデントが多すぎて写真が撮れず(笑)
デイケア恒例の七夕飾りの写真です(*^-^*)



空き時間は自主トレーニングや手作業!

蒸しカップケーキに釘



付けです。「膨んできて」「良い感じね」「電気落ちたんじゃない。ランプ消えてるよ」「竹串指してみて」「まだ竹串に付くね」「もう少し」とワクワク・ドキドキして仰っていました。いざ蒸し上がりおやつの時間です。「美味しいね」「こんなに簡単に出来るんだね」「チーズがないな。溶けたか」「具を奥に入れた方が良かったな」「チーズは上にかけての方が良かったかな」など商品開発の様に次に繋がるコメントを仰って下さる方もいらっしゃいました。スーパードキドキなコンビニ

の高齢者に人気のおやつ作りの商品開発がデイクエアの利用者様達と出来るのではないかと感じました。

2日目はバナナを使用し、甘い蒸しケーキにしました。やはりブレイカーが落ちてしまい、この日は一台ずつ蒸していく事になりました。でも皆さん2日目も協力して作りあげ、「甘くて美味しい」と仰る方が多かったです。

おやつ作り、職員は意外と準備や作り上げるまでに大変ではあります。が、食べる事は楽しみです。もあり、それを作るまでの過程に利用者様達がワクワクして下さるので、また企画していきます。

デイクエア室 八馬

あじさい見学

23日に、コロナで押さえられていた心に花を咲かせるあじさい見学の日を迎えました。デイスールと合同で



お天気に恵まれて♪



車4台が、ご無沙汰の外に出にいつもよりも楽しみ倍増の、はじける思い



を乗せて「田島のふれあい公園」に迎いました。前日まで雨でしたがこの日は真夏日のように暑い日で麦わら帽子をかぶり、首にハチマキをつけて車に乗り込み、到着するまでの10分間のドライブです。外の景色も久しぶりでしたので新鮮な気持ちで景色を眺めながら、

「あら、この壁は黄色かったのに白くなってるわね。知らないうちに変わってるのね」など会話が弾んでアツという間に到着です。

梅雨の日を鮮やかに彩るあじさいですがその日も同様に青・ピンク・白・紫・ちよと薄い緑の鮮やかな色で私たちを楽しませてくれました。緑のクローバーやしろつめぐさも癒しの色で迎えてくれました。一旦ベンチに腰掛けて休んだ後、「よっこいしよ！」あじさいのところまで歩いて、杖をついて、車椅子で、それぞれが普段の倍以上に歩かれてあじさいをバックに記念撮影をしました。

「きれいだね」「今年も見られてよかったね」「暑いけど晴れてよかったね」「やっぱり外はいいね」など会話しながらお茶やジュースを飲んで時間身をゆだねて、ひと時季節を感じさせていたきました。気が付くと帰る時間になり車に乗り込んで疲れも知らないかのようにお

話をしながら帰路につきました。
今日の夕食はいつもよりおいしかったかもしれせん。

溝上 由美

七夕飾り作り

先日デイサービスでは七夕飾りを作りました。今年の七夕は白い画用紙を星型にカットし、その上に水で溶いた絵の具をストローで吹く「吹き絵」という技法にチャレンジしました。ポタツと白い画用紙に垂らした絵の具をストローで吹くと絵の具が四方八方に流れ、吹く加減や吹く方向によって様々な模様に変化します。パランスを見ながら絵の具の色を変えていくと色が混ざり合い、想像できなかった形や色に変化するの、最後までどのような作品になるのかが分らないのが吹き絵の楽しさの魅力でもあり、吹く事で口の運動にもなります。

迷いなく思いっきり吹く方、何種類もの絵の具を使ってカラフルに仕上げる方、逆にシンプルでザインの方など納得いくまで吹き絵をしてオリジナ



梅雨の晴れ間に出かけたいわ♪



ルの作品を作る事ができました。その星型の下には短冊を貼りました。「いつまでも元気にデイサービスに通えますように」「長生きできますように」「コロナが終息しますように」など皆さんの願いを込めた短冊に一つずつ可愛らしい鈴をつけ天井にすだれを吊るし風鈴のように短冊を飾りました。今、デイサービスでは彩り豊かな短冊が飾られています。風に吹かれて鳴る涼しげな鈴の音が暑さを和らげてくれジメジメした梅雨を吹き飛ばしてくれています。皆さんの座っている席から見やすい場所に飾られているので「私が書いたのがあった！」



「とても綺麗だね！」と自然に会話が弾みます。今年は毎年恒例の川崎大師の風鈴市見学がコロナの影響で中止になってしまった為、「風鈴市の代わりだね」という話もあり、今後ご利用者様が季節を感じられるような作品作り



吹き絵って面白いわね



を考えると参ります。最後に皆さんの願い事が叶いますように。そして、来年は全員で風鈴市に行けますように願いを込めて……

柳田 デイサービス

住田

完成品も色鮮やか!(^^)!

